

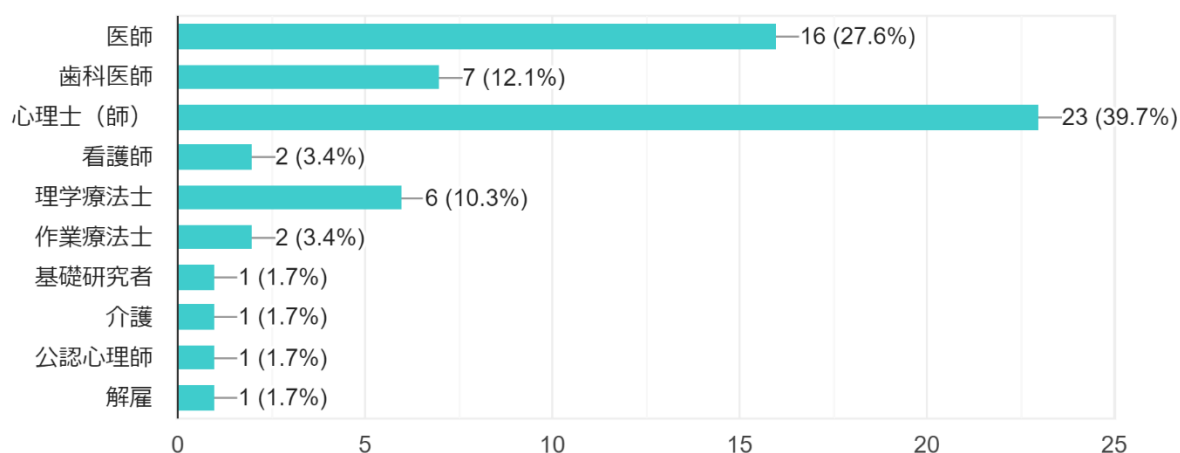
慢性疼痛診療における潤滑油としての心理士（師）の役割と課題 アンケート集計結果

2022年1月29日（土）13:50~16:30（オンライン開催）

参加者数 計 80名（オンライン 75名 登壇者 5名）

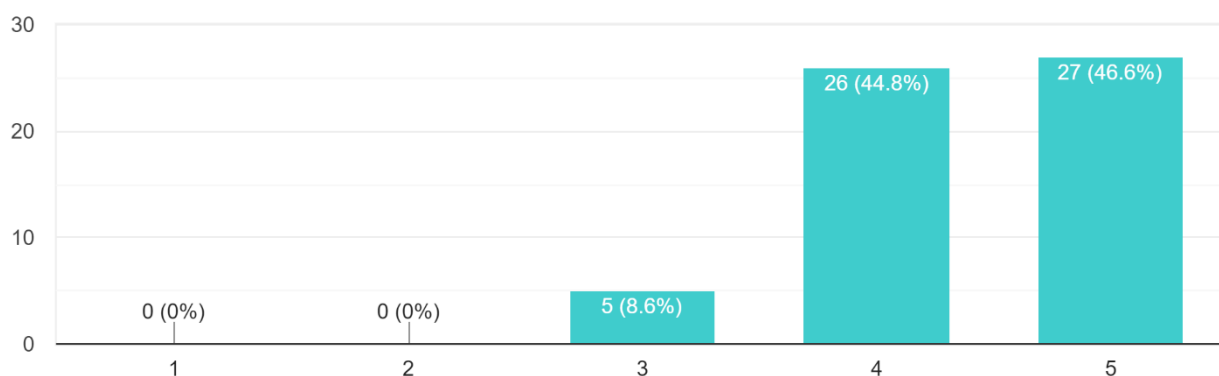
あなたの職種について教えてください。

58件の回答



本セミナーについての感想をお聞かせください。

58件の回答



まったくよくなかった

よかった

本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・公認心理士という職種の役割が理解できた
- ・具体的な臨床の話が多く、生の声が聴けてよかった
- ・大変参考になる内容であった。
- ・実際の症例での心理士の関わりの様子を聴くことができ、ありがとうございました。
- ・連携やコンサルトは、治療の局面を変えることが多いと考えていて、このようなテーマでセミナーいただき、大変参考になりました。
- ・なかなか伺えない分野の内容でとても学びとなりました。
- ・コンサルテーションの意味について理解しました。
- ・興味深いテーマで参考になりました。
- ・心理士の役割がよくわかりました。
- ・大変参考になりました。
- ・心理士と医師の視点からというテーマが良かったです。一方的ではなく、協同を意識するような内容で勉強になりました。
- ・心理士さんの思考の仕方を教えて頂きありがとうございます。
- ・疼痛患者への支援例など、具体的なお話を聴けたのが良かったです。
- ・心理師（士）の役割、コンサルテーションの本当の意味がよくわかりました。事例を深めてじっくり検討するのも面白いかもしれません。
- ・コンサルテーションについてや症例など、先生方の貴重なお話がきけてとても勉強になりました。私自身はコンサルテーション出来るほどまだ経験が浅く、知識技術も伴っていないため、先生方のように潤滑油となれるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- ・'潤滑油'というテーマでのご講演、とても興味深かったです。ご経験に基づく貴重なお話し、誠に有難うございました。
- ・コンサルテーションは心理職の大事な仕事と掲げてはいても、実際、中々非常勤でできているとは限られ理想論となっていました。症例報告などを伺い、些細なことでもできることをコツコツやっいてこうと再認いたしました。ありがとうございました。
- ・他職種の方への肯定的な声かけが大事というのは心理職に限らずどの職種でも大切なことであり、これから意識的に実践していきたいと感じました。貴重なセミナーをありがとうございました。
- ・心理士さんの見立てはとても勉強になります。病院の中でもっと役割について理解してもらい、チームとして一緒に活動できる機会が欲しいと思いました。
- ・当方心理士ですが、山根先生のお話にあった医師から見た心理士（心理学）像の部分は、普段なかなか知る機会のない視点で、とても新鮮でした。加藤先生が多職種への関わり方

も参考になります。特に今はコロナ禍で、なかなかオフでのコミュニケーションが取りにくくなっている中、相手の専門性やその背景を知る糸口になりそうです。

- ・講師、座長の先生方のお人柄に感銘を受けました。山根先生が「結語」としておっしゃられていた「技術よりも人間対人間」が腑に落ちました。
- ・”職場の状況と併せていろいろと考えさせていただきました。ますます協働、連携、具体的には、フットワーク軽く、かつ丁寧に働いていくことの重要性を感じました。ありがとうございました。”
- ・スライド表示のチェックは事前にさせていただけますようお願い致します。プログラム変更についての案内があったのかも知れませんが変更について事前に周知いただければと思います。
- ・心理士と医師との協働の大切さが良く理解出来ました。
- ・今年度、公認心理師の受験予定のため多職種連携でのダブルライセンスとしての活用やコンサル的な役割の重要性を学べた。他職種内においても心理的な支援が必要と感じたので、最後のグループ実務者経験受験にて是が非でも資格取得したいと思いました。
- ・痛みが得意な心理士さんが増えると助かります。
- ・コンサルテーションは、支援者の方が患者さんとの関わりを整理するために、大切なプロセスだと感じました。既に実践されていることであっても、良い点をフィードバックとして伝えられることは、支援者の方にとってプラスであると学びました。症例を交えて、先生方がどのような思いを持ってコンサルテーションを行われているのかお話を伺うことができ、大変勉強になりました。貴重な機会を頂きまして、誠に有難うございます。
- ・”臨床心理士（師）との連携にどのように進めて良いか悩むことが多かったため、その役割やコンサルテーションの意味がわかりました。
- ・大変わかりやすい講義でした。ありがとうございました。”
- ・ダブルライセンスの講師のお話が非常に興味深かったです。
- ・はじめの症例報告に感銘を受けた
- ・具体的な活動内容が理解できて参考になりました。痛み診療における活動は始まったばかりであることがわかりました。痛み診療での心理士のかかわりの重要性を全国に広めてください。
- ・心理士と医師との協働の大切さをあらためて感じました。
- ・整形外科で、慢性疼痛を、取り扱っています。心理学に、私は、大変興味があり、フロアの先生方、それぞれの、話される内容、以外、会話のテンポや、表情など、整形外科医だけ集まるセミナーより、大変、日々の外来診療に、参考になり、ありがとうございました。
- ・心理士さんが医療従事者のコンサルタントとなって慢性疼痛診療に参加するという視点が新鮮でした。普段心理士さんと共に慢性疼痛診療をしています、まさにそういう状況になってアドバイスをもらっており、助かっています。

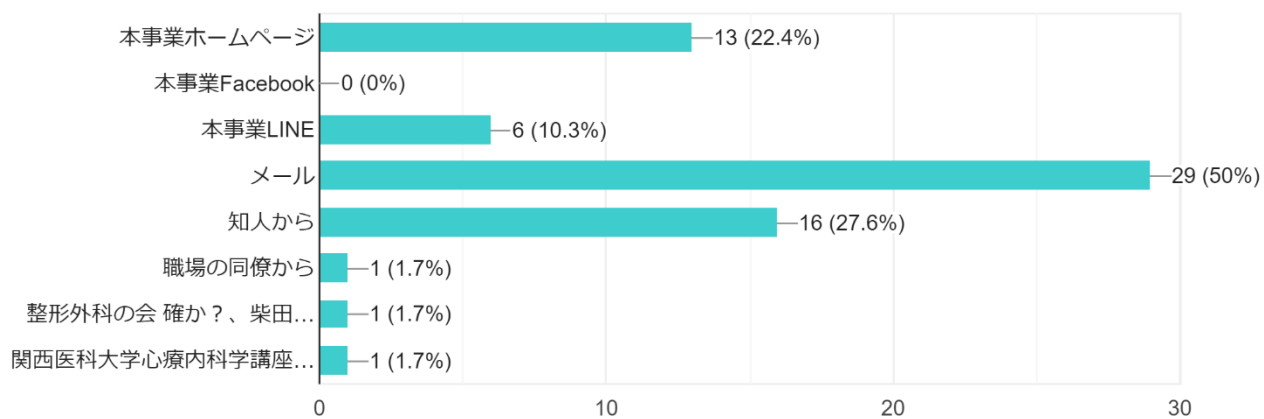
- ・心理士の活動の可能性を多職種に理解していただけるきっかけとなってよかったと思います。

今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・特別ありません。
- ・具体的な症例のコンサルテーション例について。
- ・多職種参加の症例検討会などがあると勉強になります。
- ・患者さんへ心理士の受診をお勧めしてもなかなか希望してくれないので、お勧めののこつがあれば教わりたいです。
- ・日曜日・祝日の開催がありがたいです。
- ・もう少し専門的なお話も聞きたかったです。
- ・一つの事例をもとに、集学的な痛み治療に関わる多職種がどう関わっていったかを知りたいです。
- ・できましたらば、どうやって自信をもって他の職種の方々と対話するか、のコツを学びたいです。対等の関係と言われても中々、難しいところがありますので。
- ・特になし
- ・多方面の勉強をさせていただき、感謝しております。これまでどおり、様々なトピックスでセミナーを開催していただけると嬉しいです。患者さんのお役に立てる歯科医師であるように励みたいと思っております。
- ・現場では、看護師さんの働きにはいつも感心させられていまして、他職種の連携にとっても重要だと思っています（他職種連携のイニシアチブを捉えているように思います）。疼痛・緩和医療のテーマと少し離れてしまうかもしれませんが、心理士と看護師さんとのコラボ事例なども教えていただけたらと思います。
- ・現在、特にありません。
- ・過去のアーカイブ動画希望。スケジュールが合わずに当日セミナー参加できない場合があるため。
- ・Web開催ですので、もっと参加者を集められるのではないかと感じました。
- ・定期的に心理系が主題の講演会を主催してほしい
- ・痛み診療における心理士と精神科医の関係や役割分担などについて
- ・現時点では、ありません。
- ・また、このセミナーに、参加希望。できたら連絡メールを、送っていただきたいですね。

本セミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

58件の回答



.